

科目	美術	単位数	2	学年	2	学級	A~I 選択者	学科	普通科 国際教養科
----	----	-----	---	----	---	----	------------	----	--------------

学習の到達目標	1.美術の基礎を生かし、よりオリジナル性の高い創造活動を展開します。 2.美を感じ取る感性を高め、表現する楽しさや完成の喜びを味わいます。そして、美術を愛好する心情を育てます。
使用教科書 副教材等	光村 美術2

期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	1 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画、美術室使用上の注意等 授業で使用するプリントなどを管理するファイルのデザインをします。 アクセサリとしての美しさや個性を生かしたデザイン表現を学びます。 1年次で習得したアクリル絵具の使い方や表現技法を効果的に生かし、デザインとして捉えた人物を制作します。 色の組み合わせによる色彩表現を発展させ、階調変化によるイラスト効果を学びます。
		2 デザイン表現	
	5	アクセサリデザイン	
	6	ポスタリゼーション 「人物」	
	7	・明暗分割 ・色彩構成の発展	
	9	随時、作品鑑賞	
後期	10	1 絵画表現	<ul style="list-style-type: none"> 岩絵の具や膠といった日本画の技法を学びます。 花をモチーフとし、デッサンをしっかりと描き和紙の風合いを生かした作品を制作します。 日本画での作品の完成度を高めるため、落款印を制作します。 持ち手部分は使いやすさを考えたデザインとし、木彫刻で制作します。
	11	日本画 「扇子」	
	12	・花デッサン	
	1	2 篆刻	
	2		
	3	随時、作品鑑賞	
評価の観点及び評価の方法	美術への関心・意欲・態度		意欲的に学習活動に取り組むことができたか。美的感性を生かして、主体的に表現活動に取り組み、その喜びや楽しさを味わおうとする態度を持っているか。
	発想や構想の能力		感性や想像力をはたらかせて、自然や身の回りの造形、美術作品などのよさや美しさを感じ取ることができるか。自己の表現意図に合った方法を工夫したり構想したりすることができるか。
	創造的な技能		創造的な表現をするために、表現材料や表現形式を選択し、効果的に生かす技能を身に付けているか。
	鑑賞の能力		美術作品をさまざまな観点から鑑賞し、それらのよさや美しさを味わうことができるか。
	評価方法		提出課題による評価を7割程度。小課題、および授業への取り組み、出席状況を平常点として3割程度の評価とします。

担当教諭から	自主的に活動して、楽しみながら作品を制作してください。 *提出物は期限を厳守してください。 *備品・画材類は大切に扱いましょう。
--------	---